

# サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	デジタル・スマートシティ推進部 (デジタル・スマートシティ推進課)
2 協議事項 (案件名)	浜松市 DX2.0ー「デジタルのチカラ」で組織文化と仕事を元気に変えるデジタル変革人材の育成・確保
3 背景・現状 (現状把握 できる統計 数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年12月、総務省が26年ぶりに「人材育成・確保基本方針策定指針」を改訂し、4つの柱の1つに「デジタル人材の育成・確保」を明記した。</li> <li>2024年6月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」及び同月デジタル行財政改革会議が決定した「デジタル行財政改革取りまとめ2024」において、健康・医療・介護、こども、教育、モビリティなど各分野におけるDXの推進が掲げられた。</li> </ul>
4 検討経過・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年1月に「浜松市DX推進計画」を策定し、「LGX推進に向けた組織・職員意識の変革」を掲げ、DXメンターの育成を実施してきた。</li> <li>庁内のDX推進を支えるデジタル人材として、3年間で75名のDXメンターを庁内公募により育成してきたが、今後見込まれるデジタル人材の需要に対して、質・量ともに不足することが予想される。</li> <li>現DX推進計画の計画年度が2024年度で終了することから、2025年度から5年間の新計画を策定し、新たなデジタル人材の育成・確保策を示す必要がある。</li> <li>現在、デジタルを活用した業務改革において、デジスマ推進課が、主体的に取り組を進めるべき業務所管課に大きく介入し、伴走型で支援を実施している。</li> </ul>
5-1 方向性の 提案 (目 指すべき 姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜松市が求めるデジタル人材を「自分のまわりや他の部局の職員に、余力、考える時間、変える気力を、『デジタルのチカラ』を活用して生み出すことのできる人材」と定義し、育成・確保を図る。</li> </ul>
5-2 上記の方 向性決定 に向け議 論する事 項 (妥 当性、必 要性、有 効性 など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年度までの計画で実施していたDXメンター育成事業を継続し、2025年から5年間で新たに100名のDXメンターを育成する。</li> <li>さらに、DXメンターから選抜した職員に更に高度な知識とスキルを習得させることで、5年間で約10名のDXコア人材を育成する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>DXメンター育成事業 (継続) 取得を目指す資格：基本情報技術者、ITパスポートなど</li> <li>DXコアメンバーの育成 (新規) 取得を目指す資格：応用情報技術者、DATA Saber、AI Practitioner、Cloud Practitioner など</li> <li>DXコアメンバー等の活用 DXコアメンバー及びDXメンターの一部をデジスマ課に配属させ、デジスマ課職員として各所属のDXプロジェクトの伴走支援を実施。</li> </ol>

6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">具体的内容</div>
7 その他		